

令和3年度(4年産)ビール大麦等生育概況⑥

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和4年3月17日

(調査基準日3月20日)

【3月5日～3月17日の気象概況】

宇都宮市の3月5日から3月17日までの平均気温は、平年より2.4℃高く9.1℃であった。降水量は平年比3%と少なく1mm、日照時間は平年比121%と平年より多かった。

【3月17日のニューサチホゴールドの生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドの生育は、平年に比べ、草丈は86%、茎数は125%であり、葉齢は0.5枚少なく、葉色値(SPAD)は101%であった。

幼穂長は平年に比べ46%、幼穂長は52%で、幼穂分化程度は「Ⅸ後期～Ⅹ期」の段階であった。

本年の茎立期(幼穂長20mm)は、3月18日(平年3月15日)に迎えた。

【出穂期の予測】

茎立期以降の平均気温(有効積算温度)により出穂期を予測すると、今後、気温が平年並で推移した場合、農試本場のニューサチホゴールドの出穂期は4月23日(平年4月19日、前年4月15日)、平年より2℃高く推移したとすると4月16日である。

場所	茎立期	出穂期予測				出穂期	
	本年	平年並	平年-1℃	平年+1℃	平年+2℃	平年値	前年値
農試本場	3/18	4/22	4/26	4/18	4/15	4/20	4/15

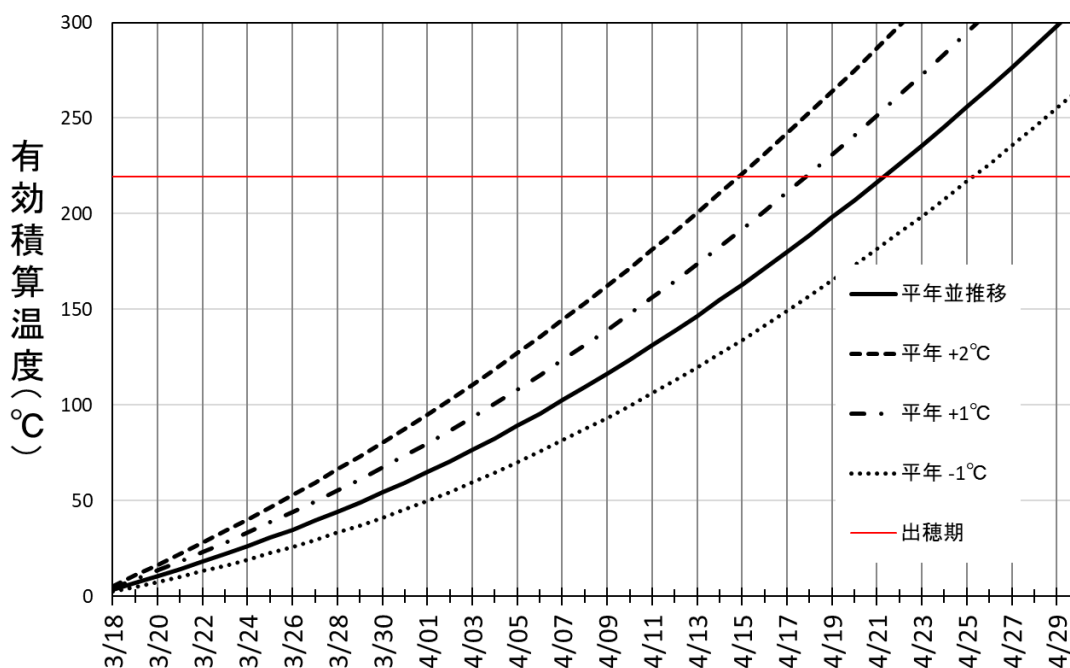


図 ニューサチホゴールドの出穂期予測(農試本場)

【気象庁季節予報(3月17日発表) ※毎週木曜日14時30分更新】

- 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込み
向こう1ヶ月の
- ・平均気温は、平年並みまたは高い確率ともに40%
- ・降水量は、平年並の確率40%
- ・日照時間は、平年並の確率40%

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 03/19~04/18	20 40 40
		1週目 03/19~03/25	40 40 20
		2週目 03/26~04/01	20 30 50
		3~4週目 04/02~04/15	20 40 40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 03/19~04/18	30 40 30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 03/19~04/18	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※1週目 : 3月19日~3月25日
2週目 : 3月26日~4月1日
3~4週目 : 4月2日~4月15日

【今後の管理】

1) 赤かび病防除

適期を逃さず、殺菌剤を必ず散布する。二条大麦の赤かび病の防除適期は、**穂揃期7~10日後**である。赤かび病多発のおそれがある場合は、1回目薬剤散布の7~10日後を目安に2回目の散布を行う。六条大麦は、**開花始と開花10日後**に2回薬剤散布を行う。小麦は、**開花始と開花20日後**に2回薬剤散布を行う。六条大麦、小麦とも、赤かび病多発のおそれがある場合は、3回目の薬剤散布を行う。

	二条大麦	六条大麦	小麦
1回目	穂揃期の7~10日後	開花始期	開花始期
2回目	多発の場合は 1回目の7~10日後	1回目の10日後	1回目の20日後

また、二条大麦の赤かび病の発生を助長する要因として、**不稔の発生**がある。不稔発生の気象条件として、

- ① 出穂前8~10日ごろの低温 (-1.0~-1.5℃の低温に3~4時間遭遇)
- ② 出穂期前後の降霜
- ③ 出穂期前後に25℃以上の高温に遭遇

などがある。今後の気象状況をよく把握し、必要であれば追加防除を行う。

なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、異なるFRACコードの薬剤をローテーション散布すること。

- ★農薬は使用前に必ずラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使用しましょう
- ★不明な点は農業振興事務所経営普及部又は農業環境指導センターまでお尋ねください
- ★農業機械の転落・転倒事故にご注意ください

2) 排水対策

登熟期の湿害は粒の充実不足を引き起こし収量の低下を招くため、排水溝や明きよの再確認を行う。

【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齡、葉色)

 抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期 ：11月8日(前年11月6日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定

踏圧 ：12月14日、12月24日、1月6日、1月20日、2月4日、3月4日
 3月17日

追肥 ：2月9日(N2.3kg/10a)、3月17日(N2.0kg/10a)

【調査結果】

農試本場(宇都宮市)における生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齡	葉色 SPAD	正規化植 生指数 NDVI	幼穂長 mm	幼穂長 mm	幼穂 分化程度
ニューサチホ ゴールデン	本年	22.4	1976	8.3	41.4	0.60	18.8	4.8	9.5
	前年	30.2	1749	9.5	42.2	0.77	47.0	9.7	11.0
	比・差	74%	113%	-1.2	98%	78%	40%	50%	-1.5
	平年	26.0	1578	8.8	40.9	0.74	41.3	9.3	10.5
	比・差	86%	125%	-0.5	101%	81%	46%	52%	-1.0
サチホ ゴールデン (参考)	本年	20.5	1693	8.6	38.6	0.58	16.6	5.1	9.6
	前年	29.5	1794	9.4	40.9	0.76	38.2	9.3	11.0
	比・差	70%	94%	-0.9	94%	76%	43%	54%	-1.4
	平年	24.3	1518	9.0	40.7	0.74	37.9	8.0	10.5
	比・差	85%	112%	-0.4	95%	78%	44%	63%	-0.9
シュンライ	本年	15.1	1270	7.6	47.1	0.56	7.9	2.6	8.4
	前年	18.4	1565	8.5	46.4	0.75	10.2	3.5	9.8
	比・差	82%	81%	-0.9	102%	75%	78%	76%	-1.4
さとのそら	本年	19.0	1830	8.2	48.0	0.63	10.4	2.3	7.1
	前年	27.1	1807	9.3	46.8	0.82	21.9	3.1	8.3
	比・差	70%	101%	-1.1	103%	76%	47%	73%	-1.1

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X：10 X以降：11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値

ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデン：平成25～令和2年度(8年間)

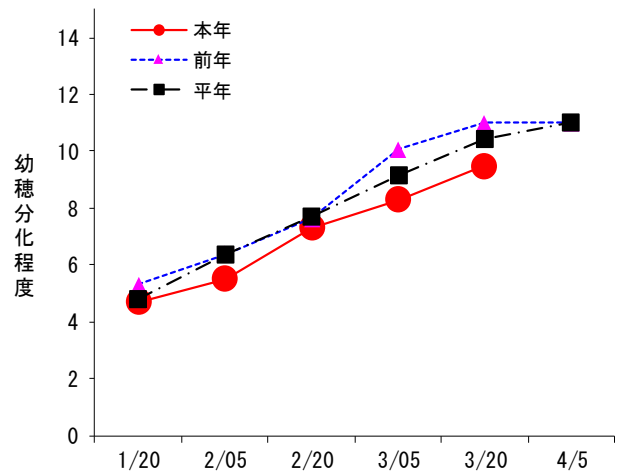
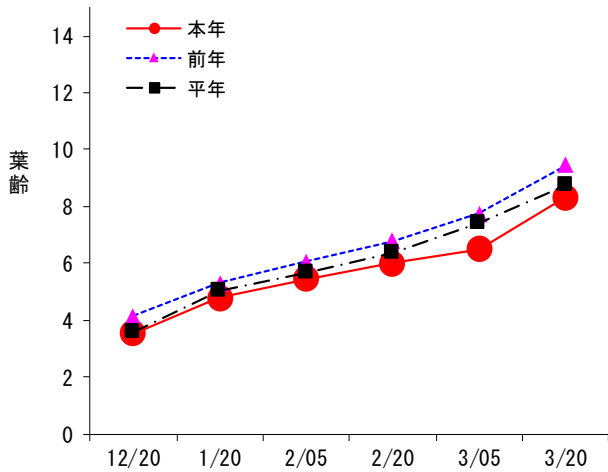
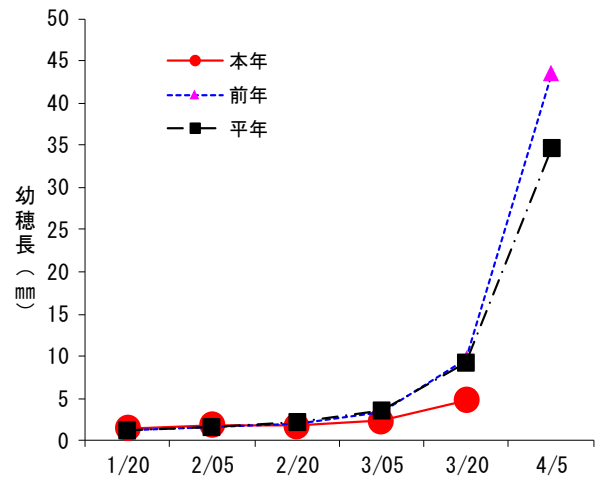
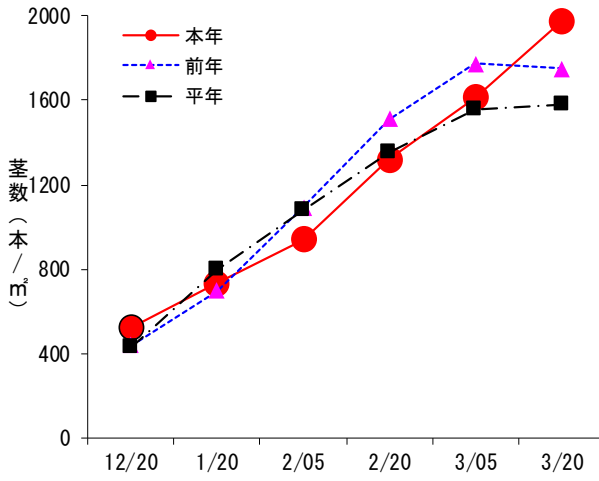
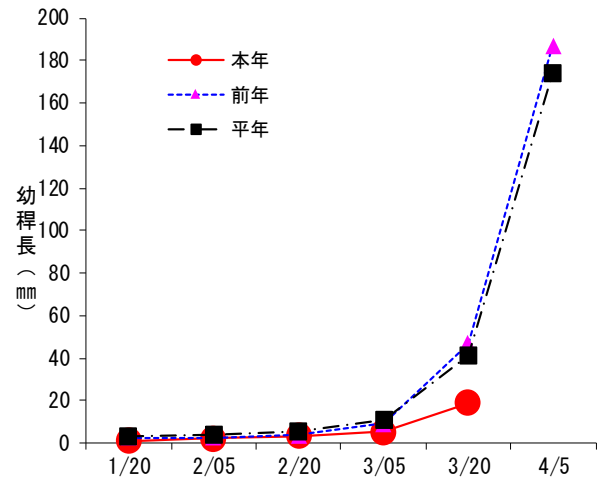
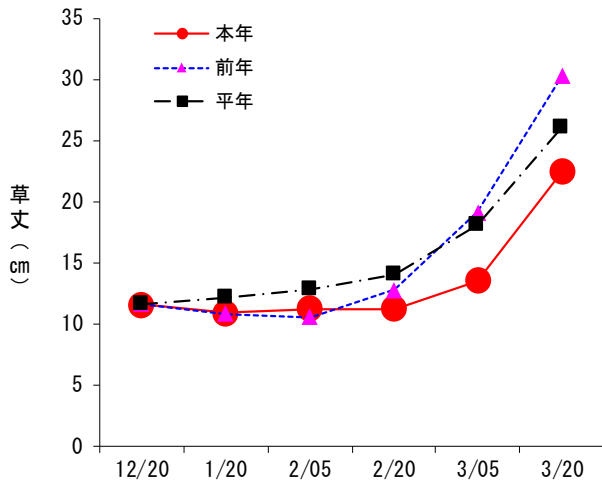
NDVIのみ平成29～令和2年度(4年間)

シュンライ、さとのそらは3年目につき平年値無し



写真 ニューサチホゴールデンの生育状況(農試本場(宇都宮市)3月17日)

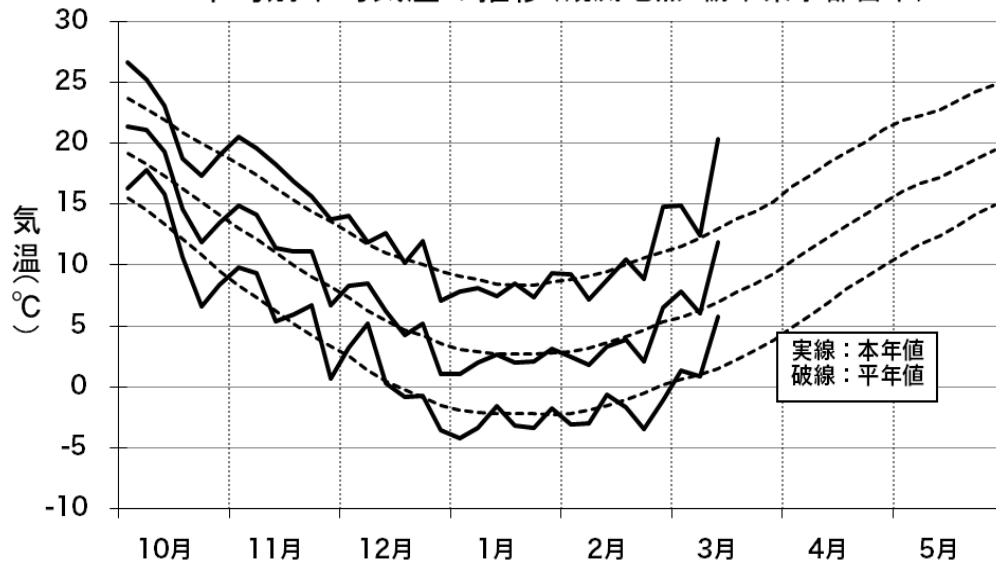
【ニューサチホゴールデンデン生育調査結果（農試本場）】



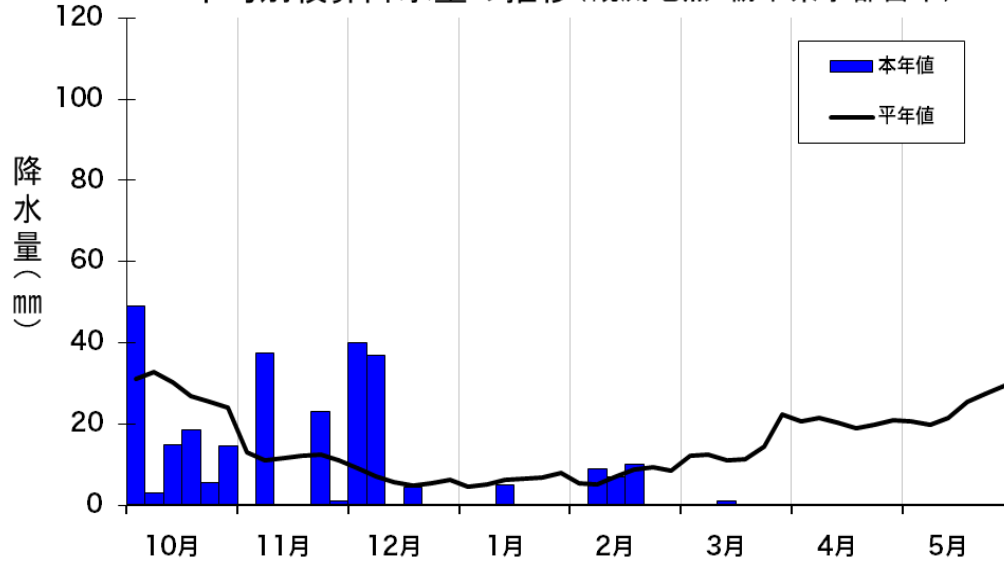
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

